

Information 1

新しい花を学びたい方へ
日本アイスフラワー
アカデミーが誕生!
生徒を募集します

2008年4月より、アイスフラワーの基本的な取り扱いから、本格的な作品の制作実習までみっちり学ぶことができます。待望のアカデミーが誕生します。第1回は特別講義として、今回登場のKAORUKOさんと松尾太一。さんが講師を担当。基礎レッスンからプロ仕様まで、1クラスの生徒数を限定した、緻密なカリキュラムです。受講希望の方は、日本アイスフラワーアカデミー事務局に詳細をお問い合わせください。

問い合わせ
日本アイスフラワーアカデミー
電話 / 03-5297-1187
住所 / 101-0041
東京都千代田区神田須田町
1-22-8 イイヅカビル7F
教室 / デイズ
(松尾太一さんのアトリエ)
東京都港区東新橋2-18-2
グラデイト沙留ビアンコ1F
第1回特別講義 / 4月21日~24日

Information 2

アイスフラワーのご購入と
お問い合わせ先

アイスフラワーはベルギーの唯一の農場から直接入荷します。約30種類のバラはもとより、ガーベラ、カーネーションなど、しなやかな風合いや色が何カ月も保たれます。もちろん、その花の一番美しい時期に摘みますから、一年中すべての種類が揃っているわけではありません。数量に限りがありますので、購入ご希望の方はもちろん、詳細は以下にお問い合わせください。

問い合わせ
株式会社テンマク
ホームページ /
http://www.iceflower.jp
電話 / 03-5298-3831

白睡蓮

Water Lily (white)

洗練された白い大輪の世界。花の開く時期も限られ、気難しい睡蓮が、美しいまま咲き続けて。



松尾太一。

美しい花の瞬間を
閉じ込めて
近くに置きたい

時を止めて、美しい花を近くに置きたいという思いが結晶した花器。バラの花と花びら、ガラスのビーズが宇宙に浮遊しているような、不思議なレジンスカルプチャー(樹脂彫刻)です。生花でも他の素材でもできない、アイスフラワーで初めて可能になった世界。誕生石やパワーストーンが埋め込まれ、贈り物にも最適。今夏発売予定。●バラ

自然な風合いと
繊細な色をそのままに。
新しい花の素材
アイスフラワー

アイスフラワーはベルギー産フリーズドライフラワー。花に特殊な加工を施すことなく、自然な風合いと繊細な色を一瞬にしてそのまま閉じ込めました。その工程で本来の花の水分が氷となり昇華されることから、アイスフラワーという名前に。従来のフリーズドライより丈夫で多彩です。かのダニエル・オスト氏も絶賛した新しい花の可能性。今年から多彩な品種が入荷します。



KAORUKO

夢あふれるピンクの
グラデーションが
エレガントに揺れて

小さな蕾も咲き誇るバラの花も、エレガントに揺れています。中心は大輪の芍薬。夢あふれるピンクの濃淡2種類と、青みがかかったローズピンクのバラを合わせました。可愛くて女の子らしくて。生花のように見えるけれど、すべてアイスフラワー。パールやリボンの異素材とも、すぐにしっくりなじみます。●バラ、シャクヤク

ピンク睡蓮(茎付き)

Water Lily (pink with stem)

感激と驚きと呼ぶアイスフラワー。開き始めたピンクの睡蓮の横顔と長いステムに、優美さが漂います。



花の
新しい可能性
第一回
アイスフラワー
初めて出会う花。
アイスフラワー

アイスフラワーは、花の時を止めて、美しい姿を瞬間的に閉じ込めたフリーズドライの花。自然な風合いや繊細な色をそのままに残した、初めて出会う花です。「花時間」初登場の話題の花の、特徴や魅力について、ふたりのアーティストとともに詳しくご紹介しましょう。日常のあしらいはもちろん、ウエディングシーンにオブジェの作品に、可能性は広がります。

花の時を止めて、
きれいな姿を留めた
新しい表現の花

アイスフラワーの魅力にいち早く注目し、実際に制作するKAORUKOさんと松尾太一。さんに、その魅力についてじっくり語り合っていました。

松尾太一。 僕はアイスフラワーを去年初めて手にとって、衝撃を受けました。すごいな、と。生花の「気分」をそのまま瞬間冷凍した花。僕の中では、正直、今までのドライの花やプリザーブドフラワーとはまったく違う意識の花に出会った気がした。

KAORUKO 松尾さん自身、どこかそういう花を求めていたのでしょうか?

松尾 そうですね。人それぞれ花の好きな部分は違うじゃない? 僕は花の朽ちる寸前の姿も好きだけど、やっぱり花のきれいな時をずっと見ていたいという願望があるんです。花の時を止めて、きれいな瞬間を切り取ったという「気分」が、かっこいいな。

KA 松尾さん、とてもロマンチックだね。確かにアイスフラワーという新しい表現のコンセプトはロマンチックで、私もそこに共感して手にとりました。

今までは、私は生花の花をメインで使ってきました。微妙なグラデーションの、ワントーン抑えたあしらいです。生花に近い感覚で、私らしいテイストのエレガンスが表現できる、それが私にとってのアイスフラワーの一番の魅力ですね。

ゼブラ模様のようなバラとか、そのまま自然のニュアンスが残っている。早摘みの蕾もいろいろな大きさがあって、それが逆に私はうれしい。ナチュラルなんです。

ウエディングに
オブジェに、
可能性を秘めた花

KA それから、何とんでもない感動したのは芍薬と睡蓮。ほんとうに優れていますね。芍薬は、ウエディングにとっても人気の花です。特に若いお嬢さんには。でも残念

ながらバラのように一年中ないから、アイスフラワーの芍薬は、ウエディングシーンにかなり、歓迎されると思う。

松尾 芍薬は季節が限られていても、ほんとうに人気だね。ヘアアクセにも可愛いし、和の要素もあるし。くしゃくしゃしたゴージャスな感じが元々僕は好きなんだけど、それがアイスフラワーにはしつかり残っている。黄色い芍薬とか、待ち遠しいな。

KA くしゃくしゃしていても、エレガントなの。睡蓮は気高さが残っていますね。

松尾 睡蓮はシャープでかっこいい。そしてエキゾチックで神秘的。従来の和の古いイメージとは違う、新しい花。生の花でも、こんなに咲いている姿をずっと見られない。水があまりにいくからね。

KA モダンな造形という感覚です。睡蓮はいろいろと可能性がありそう。茎があるというの、さらに可能性を広げますね。

松尾 フリーズドライならではの、この質感。素材感を生かしていきたいね。切り絵の感覚で花びらをばらばらにしたり。

花びらの内に命が残っている気がするから、普通に生花とアイスフラワーを合わせても違和感がないんじゃないかな。

KA 一度試してみたいわね。私にとっても新しい素材であり、ウエディングの可能性を広げる花。摘まれてフリーズドライされた花が、私の手元に届いて、1輪ずつ繊細に丁寧に扱ってブーケになったとき、まるで花がよみがえったみたいに変身するんです。不思議な力のある素材です。

松尾 今後、どんな花が出てくるのか、ほんとうに楽しみです。わくわくするね。



KAORUKO
かおるこ / KAORUKO 主宰、ブライダルフラワープロフェッサー。世田谷区立大でフラワーデザインを長年わたって担当し続け、国内外で活躍。オリジナルウエディングのトレンドやニーズに応えながら、人材育成にも力を注いでいる。



Taisaku Matsui
たいすけ / 「DAYS デイズ」主宰、フラワーアーティスト、前職花商。花に限らず、人間の創作やパフォーマンスで自由な表現活動を行っている。教室やウエディングも好評。

次号はアイスフラワーの基本、取り扱いのハウツーなどをご紹介します。

花-KAORUKO、松尾太一。 撮影・栗林成城 構成と文・近藤小桃